

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信／海外／資産複合	
信託期間	2017年3月24日まで（2013年3月19日設定）	
運用方針	ファンド・オブ・ファンズ方式により、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	世界好利回りCBファンド2013-03円高ヘッジ・円安追従型	ワールドCBファンド（円高ヘッジ・円安追従型） 受益証券およびマネー・プール マザーファンド 受益証券
	ワールドCBファンド（円高ヘッジ・円安追従型）	ワールドCBファンド マザーファンド（円高ヘッジ型）を通じて、日本を除く世界の転換社債
	マネー・プールマザーファンド	わが国の公社債
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> 日本を除く世界の転換社債（以下、「CB」といふことがあります。）を実質的な主要投資対象とします。 CBへの投資に際しては、信託期間を勘案しつつ、信用リスクや流動性などを踏まえ、世界のCB市場において相対的に投資利回りが高いと判断される銘柄に投資を行います。 米ドルやユーロなど多様な通貨建のCB等に投資しますが、派生商品等を活用して“円高ヘッジ・円安追従”の為替戦略を構築します。 	
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> 投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 	
分配方針	毎年4月15日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額は、元本超過額または経費控除後の配当等収益のいずれか多い額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

償還報告書（全体版）

[満期償還]

世界好利回りCBファンド2013-03 円高ヘッジ・円安追従型



信託終了日：2017年3月24日



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「世界好利回りCBファンド2013-03円高ヘッジ・円安追従型」は、この度、信託期間を満了し、償還の運びとなりました。ここに謹んで運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034

(9:00~17:00、土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期	基 準 価 額 (分配落)	税 込 分 配 金				受 益 者 回 り 利 率	債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率	元 本 残 存 率
		期 騰 落 額	中 期 騰 落 率	期 騰 落 額	中 期 騰 落 率					
(設定日) 2013年3月19日	円 銭 10,000	円 -	円 銭 -	円 銭 -	% -	% -	% -	% -	% -	% 100.0
1期(2014年4月15日)	10,814	100	914	9.1	8.5	0.0	-	98.8	20.0	
2期(2015年4月15日)	12,289	100	1,575	14.6	12.0	0.0	-	97.8	6.7	
3期(2016年4月15日)	11,190	0	△1,099	△ 8.9	4.5	0.0	-	96.3	3.9	
(償還時)	(償還価額)									
4期(2017年3月24日)	11,501.56	-	311.56	2.8	4.2	-	-	-	2.9	

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率-売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 証 書 組 入 比 率
			券 率	券 率	券 率
(期 首)	円 銭	%	%	%	%
2016年4月15日	11,190	—	0.0	—	96.3
4月末	11,380	1.7	0.0	—	98.0
5月末	11,220	0.3	0.0	—	98.0
6月末	10,612	△5.2	0.0	—	98.0
7月末	10,768	△3.8	0.0	—	98.0
8月末	10,557	△5.7	0.0	—	98.1
9月末	10,429	△6.8	—	—	98.0
10月末	10,679	△4.6	—	—	98.0
11月末	11,364	1.6	—	—	98.2
12月末	11,723	4.8	—	—	98.1
2017年1月末	11,441	2.2	—	—	97.9
2月末	11,262	0.6	—	—	99.0
(償還時)	(償還価額)				
2017年3月24日	11,501.56	2.8	—	—	—

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

設定来の基準価額等の推移について

(第1期～第4期：2013/3/19～2017/3/24)

基準価額の動き

償還価額は設定時に比べ17.0%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。



第1期首： 10,000円
 第4期末： 11,501.56円
 (既払分配金 200円)
 騰落率： 17.0%
 (分配金再投資ベース)

- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。
- ・単位型投資信託は実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。

基準価額の主な変動要因

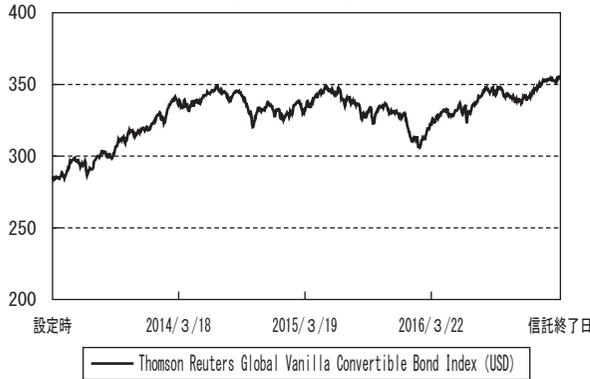
上昇要因

CBなどの利子収益を獲得したことや世界のCB市況が上昇したことに加えて、円安・米ドル高により価値が上昇する為替に係る派生商品取引の追加的収益等が、基準価額の上昇要因となりました。

投資環境について

(第1期～第4期：2013/3/19～2017/3/24)

世界CB（転換社債）市況の推移



(注) 現地日付ベースで記載しております。

(注) Thomson Reuters Global Vanilla Convertible Bond Index (USD)

©Thomson Reuters 2014. All rights reserved. トムソン・ロイター・コンバーティブル・インデックス (Thomson Reuters Convertible Index) という名称、および関連するトムソン・ロイターのサブインデックスの名称 (以下、総称して「トムソン・ロイター・インデックス」) は、ロイター・リミテッド (以下「トムソン・ロイター」という) の専有財産です。トムソン・ロイターは、トムソン・ロイター・インデックスのベンチマークを使用し取得した結果や、特定の日にトムソン・ロイター・インデックスが示す数値や水準のいずれについても、明示または黙示を問わず、いかなる保証や表明も行いません。また、トムソン・ロイターは、トムソン・ロイター・インデックスの算出方法の修正・変更につき保証を行わず、トムソン・ロイター・インデックスの算出、出版、配信を継続する義務を負わないものとします。さらに、トムソン・ロイターは、トムソン・ロイター・インデックスや当該インデックスの計算・編集 (当該インデックスに関連するまたは含まれる情報やデータを含みますが、それらに限りません) の正確性や完全性につき、明示または黙示を問わず、いかなる表明や保証も行いません。トムソン・ロイター・インデックスに係る規則および/またはガイドライン、トムソン・ロイター・インデックスおよび関連計算式の計算・編集のプロセスや基準、ベンチマークの構成やその他の関連要素は、通知を行うことなく、トムソン・ロイターの裁量により、変更または改定される場合があります。

◎世界の転換社債市況

- ・信託期間を通じてみると、世界のCB市況は上昇しました。
- ・設定時から2015年5月にかけては、米国経済が堅調に推移したこと、欧州中央銀行 (ECB) や中国人民銀行が追加金融緩和を実施したことなどを背景に、世界のCB市況は上昇しました。
- ・その後、欧州における債務問題懸念の高まりや中国経済に対する先行き不透明感の高まり、国際商品市況の下落などを背景に、投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから世界のCB市況は下落する局面もありましたが、国際商品市況が上昇に転じたことや米国の新政権における財政支出拡大観測などを背景とした株式市況の堅調推移などを受けて、投資家のリスク回避姿勢が弱まり、世界のCB市況は上昇する展開となりました。

為替市況の推移
(設定時を100として指数化)



(注) 現地日付ベースで記載しております。

◎為替市況

- ・信託期間を通じてみると、米ドルは対円で上昇しました。
- ・設定時から2015年5月にかけては、日本銀行の積極的な金融緩和や米国における量的金融緩和の縮小などを受けて、米ドルは対円で上昇しました。
- ・その後、中国経済に対する先行き不透明感の高まりや国際商品市況の下落などを背景に投資家のリスク回避姿勢が強まるなか、米ドルは対円で下落する局面もありましたが、米国の新政権における財政支出拡大の観測などを背景に米国金利が上昇するなか、米ドルは対円で上昇する展開となりました。

◎国内短期金融市場

<無担保コール翌日物金利の推移>

- ・日本銀行による金融緩和政策の影響を受けて、無担保コール翌日物金利は0.1%を下回る水準で推移しました。2016年2月のマイナス金利の適用開始を受けて、足下ではマイナス0.04%程度で推移しました。

<国庫短期証券(3ヵ月物)の利回りの推移>

- ・2013年4月の日銀金融政策決定会合で量的・質的金融緩和が決定された以降の国庫短期証券(3ヵ月物)の利回りは、日本銀行による短期国債の買入れや短期国債の需給の引き締めなどから概ね-0.1%~0.1%の範囲で推移しました。2016年1月の日銀金融政策決定会合でマイナス金利の導入が決定されると金利低下圧力が強まり、2016年12月にかけてはマイナス0.45%程度まで低下しました。その後、短期国債の入札不調などから上昇傾向となり、足下はマイナス0.32%程度で推移しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

＜世界好利回りCBファンド2013-03 円高ヘッジ・円安追従型＞

- ・ 信託期間を通して、円建の外国投資信託であるワールドCBファンド（円高ヘッジ・円安追従型）受益証券への投資を通じて、ワールドCBファンド マザーファンド（円高ヘッジ型）受益証券に投資を行いました。また、マネー・プール マザーファンド受益証券への投資も行いました。

＜第1期：設定時～2014年4月15日＞

- ・ 基準価額は設定時に比べ9.1%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

＜第2期：2014年4月16日～2015年4月15日＞

- ・ 基準価額は期首と比べ14.6%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

＜第3期：2015年4月16日～2016年4月15日＞

- ・ 基準価額は期首と比べ8.9%の下落となりました。

＜第4期：2016年4月16日～信託終了日＞

- ・ 償還価額は期首と比べ2.8%の上昇となりました。
- ・ 満期償還に向け、2017年3月21日にワールドCBファンド（円高ヘッジ・円安追従型）受益証券の組入比率をゼロにしました。また、マネー・プール マザーファンド受益証券を組み入れた運用を行いました。2017年3月17日に組入比率をゼロにしました。

＜ワールドCBファンド（円高ヘッジ・円安追従型）＞

- ・ 当ファンドが投資対象とするワールドCBファンド マザーファンド（円高ヘッジ型）受益証券への投資を通じて、主として日本を除く世界の転換社債に投資を行いました。
- ・ なお、個別銘柄選択にあたっては、CB固有の特性をはじめ、株式や債券としての側面などあらゆる観点から分析・評価を行い、相対的に投資利回りの高いと判断される銘柄等でポートフォリオを構築しました。外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。信託期間中に満期などにより現金化された転換社債の一部については、ファンドの信託期間内に満期を迎える米国債等に投資を行いました。
- ・ 加えて、当ファンドにおいて、円安・米ドル高により価値が上昇する為替に係る派生商品取引を行い、円安・米ドル高が進行した場合の追加的収益の獲得をめざしました。

＜第1期：設定時～2014年4月15日＞

- ・ 保有銘柄の利子収入を得たことや、保有銘柄の価格上昇などが基準価額にプラスとなりました。
- ・ 円安・米ドル高により価値が上昇する為替に係る派生商品取引の追加的収益等が、基準価額にプラスとなりました。

<第2期：2014年4月16日～2015年4月15日>

- ・保有銘柄の利子収入を得たことや、保有銘柄の価格上昇などが基準価額にプラスとなりました。
- ・円安・米ドル高により価値が上昇する為替に係る派生商品取引の追加的収益等が、基準価額にプラスとなりました。

<第3期：2015年4月16日～2016年4月15日>

- ・保有銘柄の利子収入を得たことは基準価額にプラスとなったものの、保有銘柄の価格下落などがマイナスとなりました。
- ・米ドルが対円で下落したことにより、為替に係る派生商品取引の収益減少などは、基準価額にマイナスとなりました。

<第4期：2016年4月16日～信託終了日>

- ・保有銘柄の利子収入を得たことは基準価額にプラスとなったものの、保有銘柄の価格下落などがマイナスとなりました。
- ・円安・米ドル高により価値が上昇する為替に係る派生商品取引の追加的収益等は、基準価額にプラスとなりました。

(当記載は、ワールドCBファンド(円高ヘッジ・円安追随型)の資料を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものです。)

<マネー・プール マザーファンド>

- ・信託期間を通して、わが国の国債や短期国債(国庫短期証券)現先取引、コール・ローンおよびCP現先取引などへの投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持をめざした運用を行いました。

<第1期：設定時～2014年4月15日>

- ・基準価額は設定時に比べ0.07%の上昇となりました。

<第2期：2014年4月16日～2015年4月15日>

- ・基準価額は期首に比べ0.05%の上昇となりました。

<第3期：2015年4月16日～2016年4月15日>

- ・基準価額は期首に比べ0.03%の上昇となりました。

<第4期：2016年4月16日～信託終了日>

- ・償還価額は期首に比べ0.04%の下落となりました。
- ・なお、当期は運用資金に対するマイナス金利適用などの影響を受けて、基準価額は下落しました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、第1期から第2期まで各100円の分配とし、第3期につきましては見送りとさせていただきます。信託期間中、累計で200円の分配を行わせていただきました。

償還価額

償還価額は、11,501円56銭となりました。

信託期間中はご愛顧を賜り、誠にありがとうございました。

○1万口当たりの費用明細

(2016年4月16日～2017年3月24日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× (期中の日数÷年間日数)
(投 信 会 社)	(42)	(0.384)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(67)	(0.606)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.030)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.004	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	113	1.024	
期中の平均基準価額は、11,039円です。			

- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年4月16日～2017年3月24日)

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国 内	ワールドCBファンド(円高ヘッジ・円安追随型)	千口	千円	千口	千円
		—	—	82	999,832

(注) 金額は受渡代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
マネー・プール マザーファンド	千口 -	千円 -	千口 99	千円 100

○利害関係人との取引状況等

(2016年4月16日～2017年3月24日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2017年3月24日現在)

信託終了日現在、有価証券等の組入れはございません。

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘 柄	期首(前期末)	
	口 数	千口
ワールドCBファンド(円高ヘッジ・円安追随型)		82
合 計		82

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	
	口 数	千口
マネー・プール マザーファンド		99

○投資信託財産の構成

(2017年3月24日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 791,070	% 100.0
投資信託財産総額	791,070	100.0

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2017年3月24日現在)

項 目	償 還 時
	円
(A) 資産	791,070,978
コール・ローン等	791,070,978
(B) 負債	3,938,285
未払信託報酬	3,920,253
未払利息	2,566
その他未払費用	15,466
(C) 純資産総額(A-B)	787,132,693
元本	684,370,437
償還差益金	102,762,256
(D) 受益権総口数	684,370,437口
1万口当たり償還価額(C/D)	11,501円56銭

<注記事項>

設定年月日 2013年3月19日
 設定元本額 22,916,812,486円
 期首元本額 901,920,293円
 元本残存率 2.9%
 また、1口当たり純資産額は、期末1.150156円です。

○損益の状況 (2016年4月16日～2017年3月24日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 13,804
受取利息	176
支払利息	△ 13,980
(B) 有価証券売買損益	28,132,793
売買益	177,612,539
売買損	△149,479,746
(C) 信託報酬等	△ 8,788,814
(D) 当期損益金(A+B+C)	19,330,175
(E) 前期繰越損益金	107,327,251
(F) 解約差損益金	△ 23,895,170
償還差益金(D+E+F)	102,762,256

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2013年3月19日			投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2017年3月24日			資産総額	791,070,978円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	3,938,285円	
				純資産総額	787,132,693円	
受益権口数	22,916,812,486口	684,370,437口	△22,232,442,049口	受益権口数	684,370,437口	
元本額	22,916,812,486円	684,370,437円	△22,232,442,049円	1万円当たり償還金	11,501円56銭	
毎計算期末の状況						
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万円当たり分配金		
				金額	分配率	
第1期	4,603,532,766円	4,978,218,259円	10,814円	100円	1%	
第2期	1,548,136,103	1,902,453,977	12,289	100	1	
第3期	901,920,293	1,009,247,544	11,190	0	0	
信託期間中1万円当たり総収益金及び年平均収益率				1,701円56銭	4.2364%	

○償還金のお知らせ

1万円当たり償還金(税込み)	11,501円56銭
----------------	------------

◆償還金は償還日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆課税上の取り扱い

- ・個人受益者の場合、償還価額から取得費(申込手数料(税込)を含みます。)を控除した利益(譲渡益)が譲渡所得等として課税され、原則として、20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%)の税率による申告分離課税が適用されます。
- ・特定口座(源泉徴収選択口座)を利用する場合、20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%)の税率で源泉徴収され、原則として、申告は不要です。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

【お知らせ】

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%(法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。))の税率が適用されます。

〈参考〉投資する投資信託証券およびその概要

当ファンドは、世界好利回りCBファンド2013-03 円高ヘッジ・円安追随型が投資対象とする円建の外国投資信託証券です。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	<ol style="list-style-type: none"> 1. ワールドCBファンド マザーファンド（円ヘッジ型）（以下、「マザーファンド」といいます。）への投資を通じて、主として日本を除く世界の転換社債（以下、「CB」ということがあります。）に実質的な投資を行います。 <ul style="list-style-type: none"> ・CBへの投資に際しては、信託期間を勘案しつつ、信用リスクや流動性などを踏まえ、世界のCB市場において相対的に投資利回りが高いと判断される銘柄に投資を行います。 ※市況動向、残存信託期間等を勘案し、米国国債および日本国債等に投資する場合があります。 ・取得時において、CCC+/Ca 1以下の格付の銘柄には投資を行いません。 2. 米ドルやユーロなど多様な通貨（以下、「原資産通貨」ということがあります。）建のCB等に実質的に投資しますが、派生商品等を活用して“円高ヘッジ・円安追随”の為替戦略を構築します。 <ul style="list-style-type: none"> ・マザーファンドにおいて、原資産通貨について、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。 ・当ファンドにおいて、円安・米ドル高により価値が上昇する為替に係る派生商品取引を行い、円安・米ドル高が進行した際の追加的収益の獲得を目指します。 ・為替戦略の構築にはコストがかかり、当ファンドのパフォーマンスの低下要因になります。 ・実質的に保有する原資産通貨について、原則として対円で為替ヘッジを行いますが、完全に為替変動リスクを排除することはできません。また、為替に係る派生商品取引では円高・米ドル安等により、限定的ではあるものの、損失を被る場合があります。 3. 投資対象国・地域における非常事態（金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等の場合をいいます。）の発生を含む市況動向や資金動向、残存信託期間等の事情によっては、前記のような運用ができない場合があります。
投資顧問会社	UBS AG（ユービーエス・エイ・ジー）
信託期限	2017年3月23日
設定日	2013年3月19日
会計年度	毎年3月末（ただし、第1回決算は2014年3月末）

信託終了日現在、投資対象ファンドを保有していないため、損益および純資産変動計算書、投資明細表は掲載していません。

マネー・プール マザーファンド

《第15期》決算日2017年1月16日

[計算期間：2016年7月15日～2017年1月16日]

「マネー・プール マザーファンド」は、1月16日に第15期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第15期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の公社債に投資し、安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	純総資産額
		期騰	落中率			
	円		%	%	%	百万円
11期(2015年1月14日)	10,047		0.0	84.8	—	1,179
12期(2015年7月14日)	10,049		0.0	85.2	—	821
13期(2016年1月14日)	10,049		0.0	70.3	—	852
14期(2016年7月14日)	10,050		0.0	62.2	—	241
15期(2017年1月16日)	10,047		△0.0	—	—	355

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	債券率
		騰	落率			
(期首)	円		%	%	%	%
2016年7月14日	10,050		—	62.2	—	—
7月末	10,049		△0.0	63.1	—	—
8月末	10,048		△0.0	66.0	—	—
9月末	10,047		△0.0	—	—	—
10月末	10,047		△0.0	—	—	—
11月末	10,047		△0.0	—	—	—
12月末	10,047		△0.0	—	—	—
(期末)						
2017年1月16日	10,047		△0.0	—	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

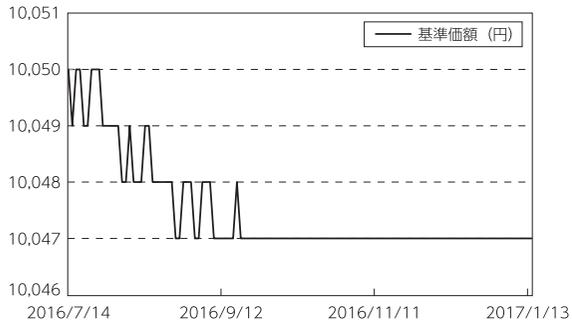
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べて0.03%の下落となりました。

基準価額の推移



●投資環境について

◎国内短期金融市場

<無担保コール翌日物金利の推移>

・日銀による金融緩和政策の影響を受けて、無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。日銀のマイナス金利の適用を受けて、足下ではマイナス0.05%程度で推移しました。

<国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りの推移>

・日銀による短期国債の買入れや短期国債の需給の引き締めなどから、国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りはマイナス0.2%を下回る水準で推移しました。2016年12月末にはマイナス0.45%まで低下しました。その後、短期国債の入札不調などから上昇傾向となり、足下はマイナス0.27%程度で推移しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

・わが国の国債やコール・ローンおよびCP現先取引などへの投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持をめざした運用を行いました。運用資金に対するマイナス金利適用などの影響を受けて、基準価額は期首と比べて下落しました。

○今後の運用方針

◎運用環境の見通し

・原油価格の上昇などを背景に物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日銀の物価目標である2%には届かないと考えています。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

◎今後の運用方針

・わが国の国債や短期国債（国庫短期証券）現先取引、コール・ローンおよびCP現先取引などへの投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持をめざした運用を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2016年7月15日～2017年1月16日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2016年7月15日～2017年1月16日)

公社債

		買付額	売付額
国内	国債証券	千円 —	千円 — (150,000)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分です。

その他有価証券

		買付額	売付額
国内	コマーシャル・ペーパー	千円 16,099,992	千円 15,799,993

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2016年7月15日～2017年1月16日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2017年1月16日現在)

国内その他有価証券

区 分	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円 299,999	% 84.4

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

○投資信託財産の構成

(2017年1月16日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
その他有価証券	千円 299,999	% 84.4
コール・ローン等、その他	55,403	15.6
投資信託財産総額	355,402	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2017年1月16日現在)

項目	当期末
(A) 資産	355,402,840
コール・ローン等	55,403,013
その他有価証券(評価額)	299,999,827
(B) 負債	192
未払解約金	112
未払利息	80
(C) 純資産総額(A-B)	355,402,648
元本	353,746,538
次期繰越損益金	1,656,110
(D) 受益権総口数	353,746,538口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,047円

<注記事項>

- ①期首元本額 240,621,739円
 期中追加設定元本額 527,320,395円
 期中一部解約元本額 414,195,596円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0047円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

世界好利回りCBファンド 2013-03 為替ヘッジあり	99,642円
世界好利回りCBファンド 2013-03 円高ヘッジ・円安追随型	99,642円
短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジあり) 2013-12	99,582円
短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-02	99,572円
短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-03	99,572円
短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-04	99,562円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-09	99,553円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-12	99,533円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジなし・早期償還条項付) 2014-12	99,533円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり) 2015-03	99,523円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジなし) 2015-03	99,523円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジなし・早期償還条項付) 2015-03	99,523円
新興国公社債オープン(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	1,692,054円
新興国公社債オープン(通貨選択型) 米ドルコース(毎月決算型)	200,000円
新興国公社債オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月決算型)	1,008,738円
新興国公社債オープン(通貨選択型) 南アフリカ・ランドコース(毎月決算型)	63,697円
新興国公社債オープン(通貨選択型) ブラジル・リアルコース(毎月決算型)	6,316,452円
新興国公社債オープン(通貨選択型) 中国元コース(毎月決算型)	19,989円
新興国公社債オープン(通貨選択型) マナー・プール・ファンド(年2回決算型)	7,175,109円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	5,154,901円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) 米ドルコース(毎月決算型)	49,966円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月決算型)	995,161円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) ブラジル・リアルコース(毎月決算型)	2,234,005円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) 中国元コース(毎月決算型)	28,349円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) インドネシア・ルピアコース(毎月決算型)	1,013,875円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) マナー・プール・ファンドII(年2回決算型)	6,982,652円
マナー・プール・ファンドIV	1,144,801円
マナー・プール・ファンドVI	225,471,608円
マナー・プール・ファンドVII(適格機関投資家専用)	976,338円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	4,314,823円

○損益の状況 (2016年7月15日~2017年1月16日)

項目	当期
(A) 配当等収益	446,914
受取利息	465,423
支払利息	△ 18,509
(B) 有価証券売買損益	△ 511,500
売買損	△ 511,500
(C) 当期損益金(A+B)	△ 64,586
(D) 前期繰越損益金	1,192,125
(E) 追加信託差損益金	2,478,977
(F) 解約差損益金	△1,950,406
(G) 計(C+D+E+F)	1,656,110
次期繰越損益金(G)	1,656,110

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型)	米ドルコース (毎月決算型)	119,857円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型)	豪ドルコース (毎月決算型)	769,078円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型)	ブラジル・レアルコース (毎月決算型)	15,855,020円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型)	中国元コース (毎月決算型)	19,977円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型)	インドネシア・ルピアコース (毎月決算型)	554,401円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型)	資源国通貨バスケットコース (毎月決算型)	1,608,548円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型)	トルコ・リラコース (毎月決算型)	19,961円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型)	メキシコ・ペソコース (毎月決算型)	19,925円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型)	マネー・プール・ファンドV (年2回決算型)	26,506,066円
米国高利回り社債ファンド (毎月決算型)		999円
米国高利回り社債・円ファンド (毎月決算型)		999円
米国高利回り社債・ブラジル・レアルファンド (毎月決算型)		999円
トレンド・アロケーション・オープン		997,308円
国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジ) 成長型		99,562円
国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジ) 分配型		99,562円
国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジなし) 成長型		99,562円
国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジなし) 分配型		99,561円
エマージング社債オープン (毎月決算型) 為替ヘッジあり		99,682円
エマージング社債オープン (毎月決算型) 為替ヘッジなし		99,682円
国際オーストラリア債券オープン (毎月決算型)		997円
リスク・パリティ α オープン		995円
米国エネルギーMLPオープン (毎月決算型) 為替ヘッジあり		996,215円
米国エネルギーMLPオープン (毎月決算型) 為替ヘッジなし		996,215円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) 為替ヘッジなしコース (毎月決算型)		99,602円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) 円コース (毎月決算型)		99,602円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) インド・ルピーコース (毎月決算型)		99,602円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (毎月決算型)		99,602円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) マレーシア・リンギョコース (毎月決算型)		99,602円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 円コース (1年決算型)		99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 円コース (毎月決算型)		99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 米ドルコース (1年決算型)		99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 米ドルコース (毎月決算型)		99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ユーロコース (1年決算型)		99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ユーロコース (毎月決算型)		99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 豪ドルコース (1年決算型)		99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 豪ドルコース (毎月決算型)		99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ブラジル・レアルコース (1年決算型)		99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ブラジル・レアルコース (毎月決算型)		99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) メキシコ・ペソコース (1年決算型)		99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) メキシコ・ペソコース (毎月決算型)		99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) トルコ・リラコース (1年決算型)		9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) トルコ・リラコース (毎月決算型)		9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ロシア・ルーブルコース (1年決算型)		9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ロシア・ルーブルコース (毎月決算型)		9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 中国元コース (1年決算型)		9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 中国元コース (毎月決算型)		9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 南アフリカ・ランドコース (1年決算型)		9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 南アフリカ・ランドコース (毎月決算型)		9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (1年決算型)		9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (毎月決算型)		99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) マネー・プール・ファンドIX (1年決算型)		12,682,871円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) マネー・プール・ファンドX (年2回決算型)		23,799,047円
欧州アクティブ株式オープン (為替ヘッジあり)		4,979円
欧州アクティブ株式オープン (為替ヘッジなし)		4,979円

US短期ハイ・イールド債オープン 為替プレミアムコース (毎月決算型)	99,562円
US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジありコース (毎月決算型)	9,957円
US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジありコース (年2回決算型)	9,957円
US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジなしコース (毎月決算型)	9,957円
US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジなしコース (年2回決算型)	9,957円
優先証券プラス・オープン 為替プレミアムコース (毎月決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジありコース (毎月決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジなしコース (毎月決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替プレミアムコース (年2回決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジありコース (年2回決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジなしコース (年2回決算型)	9,956円
米国成長株オープン	996円
世界CoCosオープン 為替プレミアムコース (毎月決算型)	9,953円
世界CoCosオープン 為替ヘッジありコース (毎月決算型)	9,953円
世界CoCosオープン 為替ヘッジなしコース (毎月決算型)	9,953円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジあり) 毎月決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジあり) 年2回決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジなし) 毎月決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジなし) 年2回決算型	9,952円
合計	353,746,538円